



現在までの歩み

姫路市船津町にある「ハリマガス協業組合」。1968年に地元企業5社が集まり設立した同社は、主にLPガスの販売を行い、地域の生活インフラを支えてきた。姫路市内には、LPガスを利用している家庭や事業所が多いというが、LPガスの一番の魅力は、災害に強いという点だ。地震などの災害時には、電力や都市ガスの供給が寸断されてしまうことが多い。その一方で、持ち運び可能なLPガスは、避難所や仮設住宅等へのエネルギー供給も迅速に行うことができる。また、同社では、創業50年以上の豊富な経験を活かして、リフォーム事業も展開している。特に得意とするのは、トイレ、バスルーム、キッチンなどの水回りのリフォームで、熟練の職人が対応するため、顧客からの評判も上々だ。ワンストップでお家丸ごとリフォームすることも可能で利便性も高い。同社の代表理事である堀幸敏氏は、「地域の開発とともに歩んできた我が社は、単なるガス屋ではなく、地域の何でも屋。地域の皆様の生活を豊かにするためには何でもする」という気持ちで業務に取り組んでいます。」と胸を張る。

毎月の電気料金で地域の子どもたちを応援!

2016年、いわゆる電力自由化が始まり、消費者は電力会社を各自で自由に選べるようになった。同社も、2020年4月1日より電力の販売を開始している。同社の電力販売サービスの注目すべき点は2つだ。まず1点目は電気料金がお得になるという点だ。最近では、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、在宅時間が長くなっている結果、電気料金が上がり困っている家庭や、来客が減り収入が下がっているなか固定費の支払いに苦しんでいる事業所なども多い。そんな家庭や事業所にとっても、電気料金の削減は救済の一手となるだろう。

もう1点は、地域の子どもたちを応援できる電気料金プランがあるという点だ。このプランを利用すると、毎月の電気料金から100円と、ハリマガス協業組合からの寄付金100円を合わせた合計200円を近隣小学校に寄付することが

「新しい一手」は地域の子どもたちのために
地域のインフラを支えるハリマガス協業組合の新サービスに注目!

ハリマガス協業組合 代表理事 堀 幸敏

できる。毎月の電気料金から気軽に寄付できるというのは、地域に幼い子や孫を持つ人はもちろん、地域貢献活動を行いたい事業所にとっても打って付けのサービスだ。同社では、2011年から毎年「よってみん祭」というイベントを社屋前で開催し、ガス機器をお得に販売したり、子どもたちが喜ぶ催し物を実施している。「よってみん祭」は、ガス料金の自動引き落とし化など、手続きが便利になる一方で、顧客と顔を合わせる回数が減ることを危惧し、始まったイベントだという。顧客と地域を何よりも大切にしている「地元ファースト」な同社だからこそ、この画期的な電力販売サービスを行うことができたと言える。また、同社では、18歳以下の子どもと同居している場合、電気料金を削減できるサービスもあり、子育て世代への応援にも力を入れている。

今後の展望

「我が社は、総勢10名の小さな会社ですが、創業から50年以上、地域の皆様に支えられて育てていただきました。今年の春には、電力販売という新サービスの開始と、また、新入社員も入社し、社内に新しい風を取り込むことができました。今後も、地域の皆様に頼りにしているだけの会社を目指して新しい挑戦を続けていきたいと思います。」と、堀代表理事は語った。



DATA

事業内容: LPガス・電力販売
各種器具・厨房機器販売、設備工事請負
所在地: 〒679-2101 姫路市船津町4051
電話: 079-232-0307 FAX: 079-232-6307
URL: <http://harimagas.jp/>